

ROTARY INTERNATIONAL GOVERNOR'S MONTHLY LETTER



OFFICE OF GOVERNOR OF DISTRICT NO. 62
JIROZAEMON ITO
MATSUZAKAYA DEPT STORE
MINAMIOTSU-DORI, NAKA-KU, NAGOYA, JAPAN



NO. 1 (JULY 1, 1955)

第一信(昭和30年7月1日)

参
考

第六十二区ロータリークラブ

会長並びに幹事殿

国際ロータリー 第62区ガバナー

伊藤次郎氏宛

○ 就任の御挨拶 (Greetings)

シカゴのコンベンションに於てガバナー・エレクトは出席全会員に紹介され、私はロータリー第二半世紀の記念すべき第一年目の新第62区ガバナー・エレクトの指名を受けました。地区も新しく範囲も丁度適当と思はれますので、皆様の絶大なる御支援によつて新第62区の組織の強化とR.I.発展に渾身の努力を尽したいと念願しております。Lake Placidに於けるAssemblyとChicagoのConventionの状況は、さきに「ロータリーの友」誌上を通じて簡単に御紹介致しておきましたが、米国より送還した書類の到着をまつて正確に御報告致しますよう。

○ 前ガバナーへの感謝

(Thanks To Mr. Yanase)

第60区前ガバナー柳瀬氏の絶えざる誠実な御努力に依り60区ロータリーは驚異的發展を遂げ、一地区としては尤大過ぎる迄に伸張致しましたので、新に二地区を創設せられました。

たことはロータリーの発展を如実に物語るものと信じます。時あたかも輝かしき五十周年の記念すべき年に当り、日本ロータリーの歴史に忘れる事の出来ない一頁を刻まれた御功績に対し、衷心から尊崇と感謝の念を捧げるものであります。皆様と共に今後の御健祥と御教導を懇願してやみません。

○ 小林雅一氏 Counselorに委嘱

(Mr. Kobayashi appointed as the Counselor)

R.I.会長から私に参りました書信に依りますと、小生のRotary Information and Extension Counselor 即ち教育指導、拡張新設等に関する相談相手として、小林バスト・ガバナーが当られることになりましたので、この機会に御披露申し上げます。

○ 地区資金連合委員会並びにガバナー合同懇談会

(District-fund Committee and District Governor's Meeting)

7月2日……四地区連合の地区資金委員会

7月4日……四地区新ガバナー合同懇談会

いづれも東京で開催されますが、その際具体的問題が決定する筈です。特に新ガバナー同志帰国後一堂に相会して今後の運営に関する統一的基本方針を話し合うことに予定しておりますから、その申合せ事項はいづれ後程ガバナー月報を通じて御通知申し上げます。

○ 出席報告 (Attendance Report)

六月分は従来通り柳瀬ガバナー宛に }

七月分以降は新ガバナー事務所宛に }

御願します。クラブ出席報告が毎月10日迄に届かない為非常に迷惑する事が多いさうです。

ガバナーは各クラブから提出された出席報告を纏めて集計の上、第62区としての総合報告を毎月17日迄にR.I.本部へ送附の必要上、

各クラブは月末例会終了次第遅くとも10日必着ノで御願い致します。

○ ガバナー事務所 (Governor's Office)

名古屋市中区南大津通2の9

株式会社 松坂屋 本社

尚他の関係事務所も別表「事務手続カレンダー」に記載してありますから、月報として綴込まずに御手許に置いて御利用下さい。

○ 委員会活動並に、各委員長に対する R.I. からの連絡

(Committees and Special mailings to Club Committee Chairman)

既にR.I.本部から送附されております文献「Committee Suggestions for 1955-56」は必ず各委員長に配布して下さい。委員長は又之に基いて本年度の活動目標を確立して頂きたい。

R.I.本部は会務・社会・職業及び国際奉仕の四大部門委員長は勿論、クラブ会報、プログラム、雑誌関係の各委員長にも参考資料を直接送付致す事になつておりますから、新会

長幹事宛の就任メッセージに同封の印刷用紙に各委員長の氏名と其住所を記入の上、未発送のクラブは至急本部へ直送して下さい。序にガバナーにも御通知願います。

尚「Manual of Procedure, Pamphlet No.35」も会長・幹事必携の参考書ですから、是非座右に備付の上精々御活用されん事を希望いたします。

○ 財 務 (Finance)

各クラブにおかれましては新年度の活動計画に就き既にクラブ協議会を開催の上充分御検討済のことと存じますが、七月早々には本年度予算を作成して下さい。

○ 半期報告 (Semiannual Report)

七月及び一月には英文報告書(橙色)の「Semiannual Report of Club Membership」をR.I.本部、小林氏、当ガバナー宛報告する事になつておりますから、お忘れなく。この用紙は若干メペアが当方にもございますから、必要なクラブは御請求下さい。尚5月15日以後発足の新クラブは今回に限り報告及び本部分担金支払の必要はありません。

○ 本部負担金 (Per Capita Tax)

七月及び一月には半期報告をR.I.本部へ報告することになつておりますが、本部負担金は人頭割で別記 Fiscal Agent of R.I. 小林氏宛に御払込みたく、又雑誌「Rotarian」購読部数と料金報告も至急R.I.本部へ直接御発信頂くと同時に、送金は小林氏宛御願します。

○ 地区資金 (District fund)

地区資金「ロータリーの友」購読料並に地区大会分担金、も必ず別表記載の関係事務所宛夫々御払込下さい。

以上の払込処置は附表「事務手続カレンダー」に基き、Governor 及び Fiscal Agent

必ず期日迄に御提出下さい。

○ クラブ情報、ロータリー紹介、 並に地区ニュース

(Club Publication, Public Information
& District News)

各クラブに於て発行の Bulletin は一部宛ガバナーの方へ御送付頂きたく、又シカゴ本部にも御送り下さい。

各クラブの活動状況は出来る限り其土地の新聞に記載して頂き、絶えずロータリーのPR紹介に工夫努力を重ねられることを期待します。掲載記事の新聞切抜も努めて当方迄御届け願います。このガバナー月報の内容を豊富にする為、ローカルなニュース、人事消息、公共奉仕の具体例等、参考になる情報の提供を歓迎するものであります。

○ ロータリー財団奨学資金 (Rotary Foundation)

ロータリー奨学資金の寄附はR.I.本部分担金同様国際R.I.財務代行者小林雅一氏宛です。此の送金内容は写を一部当ガバナー事務所宛御報告下されば、毎月の当紙上をかりて各クラブの御協力振りを紹介させて頂きます。

尙留学生は従来二地区交互で一人ずつ選出という事になっていましたが、本年より一地区に一人宛出せる事になりましたからその点御含みの上、絶大なる御協力を御願い致します。

○ 名誉会員 (Honory Membership)

名誉会員の任期は毎年七月一日を以て自然に資格消滅する事になっておりますから、引続き推薦せんとする場合は新理事会の決議を要する事になっております。之に就てはロータリー定款の規定を御覧の上、ロータリーの理想実現に功績のあつた方々を御推薦下さい。

○ クラブ公式訪問

(Official Visits to Clubs)

ガバナーの公式訪問は御承知の通り、クラブ協議会を開き、役員・委員長各位と懇談すると共に、例会に出席して会員全部に御目にかかり、共にロータリーの目的の推進を図る事が主眼です。クラブ訪問に先立ち「Club Review For Governor's Visit」を会長宛に御送りしますから、之に対する答と各委員長の事業経過並に計画報告を邦文で結構ですから、会長ガバナー用に二通づつ作製して置いて下さい。ガバナーは会長の総合報告書「Club Activities Report」(三部英文復写)とこの委員長報告書を参照し乍ら懇談に臨み積りですから是非御用意願います。尙ガバナーとしては例会出席よりも前日のクラブ・アセンブリーを重要視しますから、全役員、各委員長は勿論、出来るだけ多人数御出席される様御計下さい。

○ 予定スケジュール (Scheduled Plan)

出来る限り早目に34のクラブの公式訪問を終了する予定の下に大体の年間スケジュールを計画しましたが、各クラブに於て特に期日の御希望又は御意見がございましたら、当方迄その旨御申込下さい。お互に最も良いチャンスを選んで効果的に滞りなく訪問の使命を全うしたい所存ですから、何卒各位の御協力を懇請してやみません。

新第62区ガバナーとしての最初の訪問は先づ岐阜地区から始める積りで、関係クラブへ次の様な日程を御通知申し上げました。

クラブ名	クラブ協議会	例会出席日
一宮	7月22日(金)	7月23日(土)
大垣	26日(火)	27日(水)
岐阜	28日(木)	29日(金)

○ 附 記

貴クラブ事務所の電話番号を折返し、ご通知
下さるよう御願いたします。

外國留学のロータリー財団奨学学生に就て

本日 市のロータリークラブ会長 氏は、来年度のロータリー財団奨学学生候補者を当クラブからも是非推薦したいと言っている。往復の旅費、並びに教育・生活費の全費用を保証するこの奨学学生選出の為、志願者はロータリークラブに申込をせたい。

奨学学生たる資格

このロータリー財団奨学学生の志願者はそこにずっと住んでいる都市のロータリークラブを通じて届けなければならない。年齢は20才から29才迄で、大学卒業若しくは現在最終学年在籍の成績優秀なる者。勿論留学しようと希望する外国の語学に充分熟達していなければならぬ。更に又社交的であり、時事問題にも非常な興味をもち、リーダーシップをとる才能にも恵れていることが必要条件である。ロータリー奨学学生は人種、宗教、市民権の如何により差別をうけることはない。

ロータリー地区内に於ける他の候補者

当市のロータリークラブから推薦する志願者は愛知・岐阜・三重・静岡・神奈川・山梨・長野・富山・石川の九県を以て構成される国際ロータリー62区（ガバナー伊藤次郎左衛門氏）という地域内の他の36クラブから推薦される候補者と覇を競うことになる。

1956～57学年度の留学生志願者の締切期日は当クラブ宛11月15日とする。

175万ドルの留学資金

ロータリーの創設者であるポール・ハリスを記念して1947年にこの計画が実施されて以来、現在迄ヨーロッパ・アジア・アフリカ・アメリカ・太平洋地域諸国に住む708人の青年子女がロータリー財団奨学学生として海外に派遣された。毎年この為に一人当たり平均2,500ドル（90万円）の留学資金が与えられ、1947年以後之に充てられた費用は175万ドル（6億3千万円）の巨額にのぼっている。

親善友好の大使

ロータリー奨学学生は留学した諸外国と自国を結ぶ国際親善に役立つ大使の役目を果たしたというも過言ではない。ロータリー奨学学生の大きな特色の一は、自由世界の92ヶ国に8,900のロータリークラブがある為、どこの国に留学しようとも留学生は母国を離れて勉学中、その土地のロータリアン並に家族と親しく交はる機会が与えられることである。留学生はロータリーの会合に出席し、ロータリアンの家庭・職場を訪問し、休暇中は出来得る限り方々を旅行する特権が与えられる。かくして留学生は直接自分の目で招かれた国の人々がどの様に生活するかを体験し、この密接な関係を通じてロータリーの目的の一でもある国際間の理解親善の増進の為に重要な役割を果たすのである。

明日の世界になう者

未だこの計画は実施以来僅か九年にしかないが、今日迄のロータリー財団奨学学生は明日の世界に於けるリーダーたることを約束されている人達ばかりである。大学や高等学校で教鞭をとるもの、政府の外交官として或は他の公職につく者、宗教の聖職にある者、研究調査に携はる者等いづれも夫々の道を歩み乍ら各自の奉職する分野に於て第一等の人物たらんと懸命に務めているからである。

The Manual of Leader, Forum on Club Level

R.I. プログラム委員会は各クラブで会員教育の為、四大奉仕部門の各々に就て一晚のフォーラムを開く様に勧告している。フォーラム・リーダーに対する実施上の注意と、四大奉仕部門に於て討議すべき諸問題を次に述べる。

第一：四大奉仕部門の何れを最初のフォーラムに取り上げるかを決定する。

第二：その部門に関する参考書類をR.I.本部に注文する。

第三：一晚で一つの部門のフォーラムを行う様計画する。

一般的注意

フォーラムの目的：討論によつて会員にロータリー活動の各部門に通曉させる様にし、又クラブ所在地に於て奉仕部門各々の中、何が実行出来るかを明かにする為である。

出席：クラブ全会員、特に新入会員の為に関かれ有益なものである。会長は特に新会員が出席する様招待状を出すこと。討論の主題となる奉仕部門に属する会員は全部出席する。

開催の時：一年を通じて四大部門毎に少くとも四回開く。晩餐会でもよし、又は夕食後に軽い飲食物を出してもよい。

会場：例会場を第一に選ぶ。都合が悪ければ適当な広さの処でもよい。

リーダー：討論する主題に最も通じた適任者を選ぶ。(クラブ会長、委員長、近在クラブの元R.I.役員、又は知識ある会員)

リーダーに対する注意

フォーラムは公式の格式ばらない討議を意

味する。講演は最小時間にすること、出来るだけ多数が出席する様努力すること、又割当られた時間通り行うこと。リーダーの判断によつて必要だと思はれる題目を強調すること。

1. 座席は重要であつてリーダーを開んで半円形に座ること。
2. 予め二、三の会員と打合せ質問を用意しておく。
3. 出席会員に多く語らせる様にする。リーダーの役割は、第一に仲間の考えを引出し、誤つた知識を是正し、不完全な知識をなくすることである。
4. リーダーは討論の間レフェリーの役を果たし、討論を間違つた方向に行かない様にする。
5. 発言回数が多すぎたり、時間がかかりすぎる会員を巧くリードする。
6. 時間通り開会、閉会する。

クラブサーヴィスのフォーラムに関する示唆

リーダーに対する注意

クラブ奉仕の面で如何にしてクラブを強化出来るか、これこそ当面の目的である。以下は単に示唆するに過ぎない、適当に取捨選択されたい。

1. クラブ奉仕とは何であるか。
 - a. ロータリーの第一歩である「奉仕の機会を求めて知己を増す」こと。
 - b. 「クラブ奉仕」とはロータリーにとつて全員がクラブ運営に助力することである——例会に於ける出席、プログラムの協同参加等。討論に於てクラブ奉仕のプログラムを如何にして強化出来るかと云

う考えの下に討議すべきである。

2. A. Z. ベーカー会長本年度の第一目標である「資源の拡張」をクラブ内で如何にして実現出来るかを論議する。

即ち、ロータリー情報と拡張（内部拡張、外部拡張）を計画し実行すること、これが各会員を良く教育されたロータリアンたらしめ、会員を維持する上の活動に役だつ。過去に於けるクラブの活動を検討し、必要に基づき現在の力を分析し、多数のロータリアンを作ることによつて資源を開発する様に努力すること。

討議に関する諸問題：

1. クラブの一般管理を実行する方法？
（定例、又はそれ以外の理事会、クラブ協議会、炉辺会合、更に活潑な委員会の開催。）
2. その地域の事業、専門的職業の完全な代表者を選び、会員を増加する方法。
（職業分類調査、職業分類委員会資料参照）
3. 将来有力な会員を保証する為、若い会員を入会させる機会如何。
（第二会員・シニア会員の活用、会員銓衡委員会リーフレット参照）
4. 新会員の推薦、申込、選挙の方法に就て新しい方法があるか。
（クラブ細則—11条—会員選挙の方法、ロータリー情報委員会リーフレット参照）
5. クラブ平均出席率と地区内他クラブと比較。
（何故ロータリーは出席を強調するか・出席競争及びその他の手段・メロクアツプの価値と目的・出席規定の実施等、出席委員会リーフレット及びパンフレットNo. 27参照）
6. クラブに於ける親睦は完全か。親睦を増す為の注意を行つてゐるか。
（座席の交代・家族・誕生日・記念日・ゲストの歓迎等、親睦委員会のリーフレット参照）

7. 会員特に新会員にロータリーの知識を高める処置をとつてゐるか。更に多くの注意を与えてゐるか。

（パンフレットNo. 38、ロータリー情報委員会リーフレット及び Adventure in Service参照）

8. クラブは所在都市に於て適切な令名ある評判を得てゐるか。P.R.活動の強化方法は如何。

（一般情報委員会リーフレット参照）

9. クラブの週報はその役割を果たしているか。

（週報未発行クラブに於てはリーダーが発行方法を協議させる。クラブ会報委員会リーフレット参照）

10. 毎週のプログラムを促進する為に何か示唆を与えてゐるか。ロータリーの四部門に然るべく強調しているか。

（プログラム委員会リーフレット参照）

11. ロータリアン誌をクラブプログラム、新会員の教育、一般情報に利用しているか。
（雑誌委員会リーフレット参照）

本年度國際ロータリー第2回理事会審議事項

REPORT OF MIDYEAR MEETING OF R.I. BOARD OF DIRECTORS

(1) 新理事 (Directors Nominee)

アメリカ合衆国、カナダ、グレイト・ブリテン及びアイルランドを除く国々から1956～57及び1957～58年度の國際理事候補者として下記三名のロータリアンが指名されました。

Augustin J. Catoni, Beyrouth, Lebanon;
Adan Vargas, Callao, Peru;
William Maurice Wild,
Port Elizabeth, Union of South Africa

(2) 1957年度國際大会 (1957 R.I. Convention)

ルサーン及び中央スイスに於て開催予定の1957年度國際大会の期日は5月19日から23日までと確定致しました。約8000名の参加者を予測しホテルその他の計画が立てられています。

(3) 規則56—5の改正案 (Amendment to proposed Enactment 56—5)

R.I.大会を開く可き場所と時日を決定する事は、会場ホテル其の他の施設を予約する關係から、なるべく早く決定する必要があるので、1955年1月にきめた原案即ち12月以前に此を決めると云う原案を更に一ヶ年早める事とし改正案を理事会から Philadelphia 大会の規定審議会に提案する事になりました。

(4) R.I. 規定審議会出席会員に対する費用の支弁 (Payment of Expenses of Members of Council on Legislation)

1958年の Council の会合に出席する規定審議会の Voting member は交通に要する費用と期間中の滞在費弗36が支給される事が議決されました。

(5) 地区番号の再編成 (Renumbering of Districts)

國際ロータリー地区は近年急速に増加し、世界の或る地域においては、利用しうだけの連続番号を使い尽して居りますので、R.I. 理事会は地区番号再編成の必要を認め、相当長期間にわたつて利用しうるように、1957年7月1日附にて下記の如くR.I.の地区の番号変更を行う事が理事会で承認されました。来年からですが予め御承知置き願います。

100～199 ヨーロッパ、アフリカ、東部地中海

200～299 オーストラリア、ニュージーランド、南アフリカ、その他のグループに含まれる地域

300～399 アジア

400～499 南アメリカ、中央アメリカ、メキシコ、アンチル列島

500～799 アメリカ合衆国、カナダ、バーミユダ

(6) ロータリー研究会計画 (Rotary Information Institute Program)

1954～55年、及び1955～56年度におけるカウンセラー制度が、各クラブへロータリー情報を浸透させるのに最適の方法でありましたので、R.I.のプログラムの一部にこの活動をロータリー情報研究会計画 (従来は One-day District Institute) として設置する事が理事会で承認されました。

(7) 世界的拡張 (Extension World Wide)

未だ地区の無い地方にロータリークラブが設立される場合、理事会の明確な承認を得て初めて実施さるべきであると理事会の意見が

一致しました。なおロータリークラブはその構成会員が重点的にその地に属する実業家及び職業人であり又その地に永久的に確立された事業及び職業を代表する人達でなければなりません。又新クラブはその所在地及び会員の構成から見て容易にロータリー組織に同化し得るものでなければなりません。

(8) ロータリークラブ地域限界 (Territorial Limits of Clubs)

クラブ創立の時のクラブの地域範囲であつた都市がその後の拡張により地域が拡大された場合、その増加部分は自然にそのクラブの地域となりますが、この事はクラブ又は国際ロータリー理事会の何等の手續も要しません。但しかくの如く拡張された地域が他のクラブの地域と重複する場合には、その重複した地域のクラブの増加部分は、その隣のクラブに譲渡されたものとみなされることになりました。かくしてその隣のクラブは何ら支障なく継続が保障されます。

(9) パスト・サービス会員に関して (Provisions for Past Service Membership)

標準クラブ定款第3条第10項の規定、即ち「パストサービス会員は本クラブの地域内若しくは本クラブ所在地の郊外住宅地に現に居住し、且つ居住を継続することを必要とする」とあります。R.I.理事会ではこの条項については、正会員の資格を有していたクラブでパストサービスメンバーに選ばれた前正会員は、そのクラブの正会員からパストサービス会員になつた当時の住所に居住し且つ居住を継続する事が出来ると、広義に解釈してもよい事を承認しました。今後各クラブにおかれてはこの解釈によつて頂きますよう御承知願います。

(10) ロータリー財団奨学生校友会員の制度 (Rotary Foundation Fellowship Alumni)

ロータリー財団を發展させる為、ロータリー財団奨学生であつた人々を出来るだけ活用する必要があると認められました。

即ちロータリー財団奨学生であつた人々のロータリーに対する興味と熱心とを生かし且つ持続せしめるために、R.I.理事会ではこれらの元奨学生をロータリー財団奨学生校友会員—Rotary Foundation Fellowship Alumni—と称する事に決めました。R.I.会長は毎年このR.F.F.A.から5名をコンサルタントに指名し、ロータリー財団の目的推進を図ることにしました。R.I.会長、事務総長、及びロータリー財団評議員、並びに国際学生交換委員会はこの5名と相談して校友達の興味を湧かせ互に協力せしめるように助言します。校友住所名簿を早速作製しますが、今後半年毎に校友のニュース、交通に関する示唆、及び校友の住んでいる地域においてロータリーを知らしめるための資料などを集めた会報が発行されます。

校友達は互に親睦の機会を得、またロータリーのことで旅行中のR.I.役員に連絡をとる事などが要望されています。校友の居住地にあるR.C.は校友が国際大会や地区大会に出席するように手配し、勧誘することになっていきますから御承知下さい。

(11) ロータリー財団功労者と100%ロータリー財団クラブ (Honorary Fellow of the Rotary Foundation & 100% Rotary Foundation Club)

500ドル又はそれ以上の金額をロータリー財団に寄贈した人、又は今後寄贈する人は、ロータリー財団功労者—Honorary Fellow of the Rotary Foundation—と呼ばれ、感謝状が授与される事になりました。又会員一人当たり10ドルに相当する金額をロータリー財団に寄附したクラブに対して、従来の「100%クラブ」と呼ぶ代りに「100%ロータリー財団クラブ」と呼ぶ事に理事会で決定しました。

それ以上各会員当りの寄附金が10ドルの倍乗になるに従つて、そのクラブは「200% ロータリー財団クラブ」「300% ……」等と呼ばれます。

(12) ロータリー財団地区委員会 (District Committee on Rotary Foundation)

ロータリー財団の事業を推進する為に、ガバナーは特にロータリー財団地区委員会を設置することが出来る様になりました。ガバナーから委嘱された3人の地区委員は、ロータリー財団に関する地区活動及びR.I.本部との連絡等に関し地区ガバナーを補佐致します。

(13) ロータリー財団記念特別週間
(The Rotary Foundation Week)

「ロータリー財団記念週間」という特定の週間を一年に一回設けることとし、この期間中各クラブはロータリー財団に関する夫々のプログラム行事を実施し、ロータリー財団の目的に合致する具体的意見をR.I.本部にサジェストして頂くことになりました。

(註)：次回は5月19～23日、エバジストン本部で開催される。——以上

フランク・E・スペイン基金の使途に関する提案事項

1. 横須賀インターシティ・フオラム案

趣旨： インターシティ・フオラム開催の県ブロック別に懸賞論文を募集し夫々に対し別個に表彰をする。

県別： ブロック単位は例えば次の如き5つの県別分類が考えられる。

- (1) 三重 (2) 愛知・岐阜 (3) 静岡・山梨 (4) 神奈川 (5) 石川・富山・長野

賞金： フランク寄金1万円+地区資金1万円=2万円を5単位別に表彰すれば¥4,000づつ使用することが出来る。

表彰： フオラム開催のホストクラブが中心となり、大学所在の各R.C.が夫々の大学々生より集めて推薦した募集作品を審査する。

論文： 地区丈けの行事なら必ずしも英文の必要はない。

2. 岐阜R.C.案 (山崎一氏ノ報告ヨリ)

既に昨年10月の金沢に於ける地区大会部門別協議会国際奉仕部門に提案され賛同をうけた案件であるが、この学生の国際親善に関する「英文論文懸賞募集」具体案を列記すると、

- (1) 各単位ロータリークラブ毎に高校生の国際親善に関する英文の論文を募集し、各クラブに於て審査し優秀作品を表彰する。
- (2) 地区ガバナーは其の地区の各クラブから提出された各クラブに於ける優秀作品(第一席入賞のもの)をガバナーの任命せる審査員に依つて審査せしめ優秀作品を表彰する。
- (3) 四地区の優秀作品を集めて全国審査し、最優秀作品を表彰し之を「ロータリーの友」を通じて発表し、又英文「Rotarian」誌上にでも紹介してもらう様にする。

- (4) 毎年の課題及字数は「ロータリーの友」に依つて全国的に統一させる。

其の賞金授与の方法に就ては次の三段階が考えられる。

- (第一段階) 各ロータリークラブの表彰に就ては、其のクラブ負担とする。
- (第二段階) 地区の表彰方法は小松ガバナーの原案による(ガバナーレター第11信参照、年金4,000づつを5年間継続)。
- (第三段階) 全国表彰を「ロータリーの友」主催とする。

以上の全体の名称は「スペイン基金記念論文募集」とする。

(附 表)

クラブ幹事定例事務手続(報告書類並ニ送金関係)カレンダー

期 日	事 務 手 続 内 容	送 り 先
毎月10日迄ニ	出席報告書	ガバナー事務所
7月1日 及ビ 1月1日	半期報告 本部負担金(1人当リ ¥) 「ロータリアン」購読数及料金(1部 ¥) 地区資金(1人当リ ¥) 「ロータリーの友」購読料(1人当リ ¥)	R.I.事務局、写ガバナー フィスカルエゼント(報告書写共ニ) 全 上、 控ガバナー 地区資金委員 ロータリーの友編集事務所
10月1日 3 月 4 月 5 月	大会分担金(1人当リ ¥) 次年度会長 幹事報告 R.I.大会出席代表信任状 次年度クラブ事務所通知	ホストクラブ=金沢クラブ R.I.事務局、ガバナー ガバナー 又は 大会出席者 ガバナー 事務所、各クラブ
その都度	新入及退会員氏名其他変更	R.I.事務局、ガバナー

(¥)の金額は決定額を御記入下さい



米 国 ロータリー本部 事務局



The Secretariat of Rotary International : — 1600 Ridge Avenue, Evanston, Ill., U.S.A.

国際ロータリー財務管理者事務所

普通送金：— 東京都中央区西銀座5丁目 内外編物株式会社内 小林雅一 殿
銀行振込：— 三菱銀行又ハ三井銀行丸の内支店 R.I.フィスカルエゼント 小林雅一 殿

第62区地区資金委員事務所

普通送金：— 名古屋市東区長堀町6丁目 敷島製パン株式会社内 盛田秀平 殿
銀行振込：— 名古屋市東区赤塚町1丁目 東海銀行赤塚支店内 第62区地区資金委員 盛田秀平 殿

第62区地区大会ホストクラブ仮事務所

金沢市西町一番丁 金沢商工会議所 金沢ロータリークラブ

ロータリーの友編集事務所

東京都中央区銀座1の5

第62区ガバナー(伊藤次郎左衛門)事務所

名古屋市巾着区内南大津通2丁目 株式会社 松坂屋 本社内 [電話代表中(24) 1511, 2511]